

6. 令和3年度の実施計画案

下地島全域を250mメッシュで区切り、わなを各メッシュに2台程度を全体に設置する。加えて下地空港西側から100mメッシュで区切り、可能な範囲で1メッシュにつき1台のトラップを設置する。また、下地島に隣接する伊良部島についても250メッシュで区切り、下地島と隣接するメッシュを中心にわなを設置する(図6-1)。

次年度のわな点検作業は令和2年度に設置したわなを毎月1回程度の点検を行うとともにカゴわなを用いた集中捕獲を実施する。また、下地島中央部にわなが設置できていないエリアがあるため、新規にわなを設置できるように作業を進める予定とする。

池間島ではイタチの確認が多くなる傾向があるため(図6-2)、今後の防除の検討を行う。

探索犬によるモニタリングは下地島の空港西側エリアを中心に探索を行い、捕獲との連携を実施していく予定とする。状況によっては低密度に生息が確認されている池間島にて探索を実施し生息状況の把握を行う。

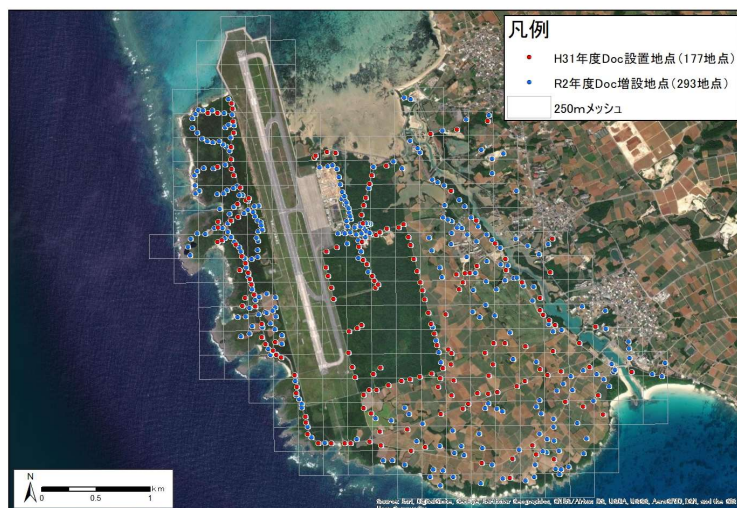


図 6-1 下地島わな地点 (470 地点)

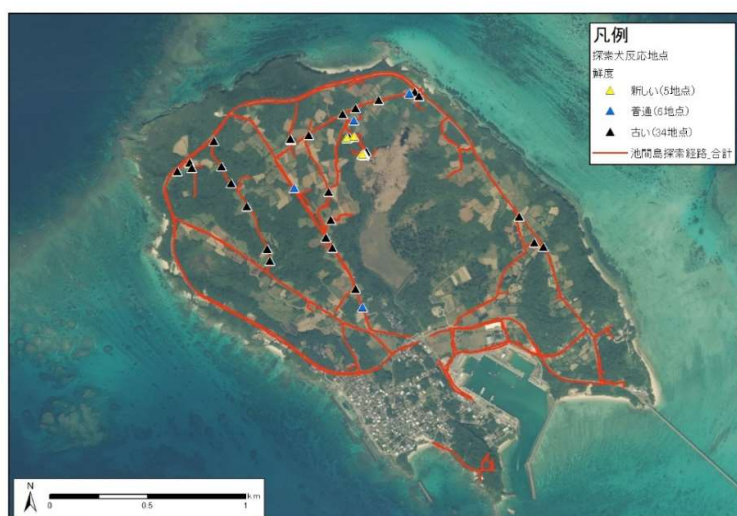


図 6-2 池間島糞確認地点

7. 他の外来哺乳類の緊急防除

沖縄県対策外来種リスト（以下「リスト」という）では生態系への影響が大きい哺乳類としてニホンイタチを含む5種が重点対策種として掲載され、その他に対策種5種、重点予防種1種、予防種26種が定められている。今年度はリストに定められた重点予防種及び生態系への影響が大きい哺乳類の侵入・定着は確認されなかった。

沖縄県対策外来種リスト分類群別掲載種類数一覧

分類群	防除対策外来種		定着予防外来種		産業管理外来種
	重点対策種	対策種	重点予防種	予防種	
哺乳類	5	5	1	26	0
鳥類	2	3	0	13	0
爬虫類	3	9	1	14	0
両生類	1	5	0	9	0
魚類	0	18	0	39	0
甲殻類	0	2	0	15	0
貝類	0	11	0	15	0
昆虫類	1	3	3	15	3
その他の節足動物	0	2	1	6	0
その他の動物	0	4	0	2	0
植物	2	81	0	51	0
合計（371）	14	143	6	205	3
	157		211		

防除対策外来種：沖縄県内に定着しており生態系への影響が懸念される外来種

重点対策種：沖縄県内に定着しており、生態系への影響が大きいことから重点的に駆除等を実施する必要がある外来種

対策種：沖縄県内に定着しており、生態系への影響が一定程度あると考えられる外来種

定着予防外来種：沖縄県内には未定着であるが、生態系への影響が懸念される外来種

重点予防種：沖縄県内には未定着であるが、侵入した際の生態系への影響が大きい外来種

予防種：沖縄県内には未定着であるが、生態系への影響が一定程度あると考えられる外来種

産業管理外来種：産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系への影響がより小さい代替性を有するものがないため、利用において移出等の防止のための適切な管理が必要な外来種

沖縄県対策外来種リスト抜粋

8. 作業部会

8.1 作業部会開催報告

(1) 作業部会主旨

沖縄本島、離島においては、様々な外来種が侵入しており、在来生物の生息に多大な影響を及ぼしている。特に、生態系被害防止外来種リストにおける緊急対策外来種については、生態系へ著しく悪影響を及ぼすとされている。

平成27年度外来種対策事業第2回検討委員会において、離島地域における国内由来外来種であるイタチは、生態系に著しく悪影響を及ぼすとされ、離島の固有種（ミヤコカナヘビ等）の減少に大きく関与していることが示唆されている。そのため、イタチについて早急な対策を検討すべきとの意見を踏まえ、本事業では、宮古諸島をモデル地区として、効果的・効率的なイタチの防除手法の開発及び実証試験を実施してきた。

平成30年度から令和元年度にかけては、「沖縄県外来種対策指針」、「沖縄県対策外来種リスト」及び「沖縄県外来種対策行動計画」を策定し、本県の外来種対策を推進するための基盤整備が図られた。

本業務は、沖縄県の生態系を保全するため、指針や行動計画等に基づき、外来種である哺乳類への対策を実施するものであり、推進にあたって専門的な意見を賜るために、外来種対策事業（哺乳類対策）作業部会（以下「作業部会」という）を設置する。

(2) 作業部会開催日時

作業部会は令和2年8月20日及び令和3年1月27日の計2回実施した（表8-1）。

表8-1 作業部会開催日時

回	実施日時	現地開催場所
第1回	令和2年8月20日 14:30～17:00	ホテルサンパレス球陽館2F会議室 (Web開催)
第2回	令和3年1月27日 9:30～12:00	市町村自治会館4F第5会議室 (Web開催)

(3) 作業部会出席者

作業部会の出席者一覧を下記に示す（表8-2）。

表8-2 作業部会出席者一覧（第1回・第2回共通）

区分	氏名	所属・役職
有識者	亘 悠哉	森林総研・整備機構 主任研究員
	戸田 守	琉球大学 熱帯生物圏研究センター 准教授
	中西 希	北九州市立自然史・歴史博物館 学芸員
オブザーバー	長谷川 雅美	東邦大学理学部 教授
	井上 英治	東邦大学理学部 准教授
沖縄県	横田 恵次郎	環境部 自然保護課 自然保護班 主幹
	呉屋 久美子	環境部 自然保護課 自然保護班 主査
事務局	株式会社島嶼生物研究所・八千代エンジニアリング株式会社沖縄事務所 共同企業体	

令和2年度 外来種対策事業（哺乳類対策） 報告書（簡易版）

令和3年3月

発注者 沖縄県環境部自然保護課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2
TEL 098-866-2243 FAX 098-866-2240

請負者 株式会社島嶼生物研究所・
八千代エンジニアリング株式会社沖縄事務所共同企業体